

# 令和6年度

## 消防設備士試験案内

**試験当日は写真を貼った受験票を  
必ず持参してください。**

### 記載事項に対する同意

試験案内は最後までよく読んで、記載されている内容に同意したうえでお申し込みください。  
申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意したものとみなします。

試験を中止・変更等する場合、願書受付期間を変更する場合等、本案内記載事項の変更については、当支部のホームページでお知らせします。



一般財団法人

**消防試験研究センター 静岡県支部**

〒420-0034 静岡市葵区常磐町1-4-11 杉徳ビル4F  
TEL 054-271-7140 FAX 054-271-7284  
ホームページアドレス <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>

消防法（昭和23年法律第186号）第17条の9第1項の規定により静岡県知事から委任された消防設備士試験を次のとおり実施します。

## 1 試験日程

回	試験日	試験の種類	試験会場	願書受付期間	合格発表予定日
1	8月4日（日）	甲種全類 乙種全類	科学技術高等学校	6月7日（金）～6月14日（金）	9月25日（水）
2	令和7年 1月19日（日）	甲種全類 乙種全類	静岡県立大学 短期大学部	11月15日（金）～11月22日（金）	令和7年 2月21日（金）

注) 受験願書の申請方法には、**書面申請**（願書による受験申請）と**電子申請**（インターネットからの受験申請）の2通りがあります。

注) 試験日程は変更する場合がありますので、当センターのホームページ等で確認してください。

## 〈参考〉消防設備士免状の種類と工事整備対象設備等

免状(試験)の種類		工事整備対象設備等の種類
甲種	特類	特殊消防用設備等（従来の消防用設備等に代わり、総務大臣が当該消防用設備等と同等以上の性能があると認定した設備等）
甲種 及び 乙種	第1類	屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、水噴霧消火設備、屋外消火栓設備、パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備、共同住宅用スプリンクラー設備
	第2類	泡消火設備、パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備、特定駐車場用泡消火設備
	第3類	不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備、粉末消火設備、パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備
	第4類	自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、消防機関へ通報する火災報知設備、共同住宅用自動火災報知設備、住戸用自動火災報知設備、特定小規模施設用自動火災報知設備、複合型居住施設用自動火災報知設備
	第5類	金属製避難はしご、救助袋、緩降機
乙種	第6類	消火器
	第7類	漏電火災警報器

注) 消防設備士の免状(試験)には甲種と乙種があり、甲種は工事整備対象設備等の工事、整備及び点検ができ、乙種は整備及び点検ができます。ただし、各種類ごとに取扱う設備が限定されていますので、類ごとに免状が必要です。

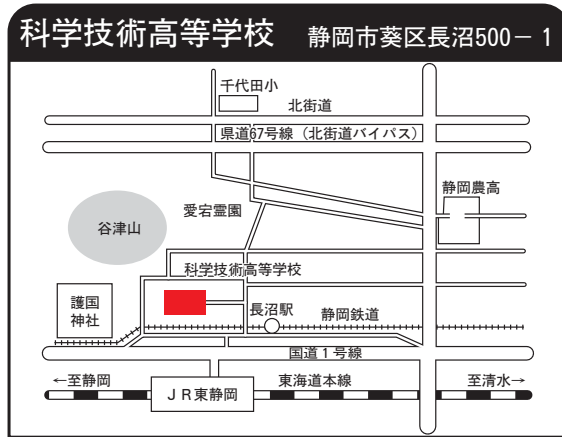
## 2 集合時刻・試験開始時刻及び試験会場

(1) 集合時刻・試験開始時刻

試験の種類	集合時刻	試験開始時刻
甲種第1・2・3・5類 乙種第1・2・3・5・6類	8時30分	9時00分
甲種特類 甲種第4類 乙種第4・7類	12時30分	13時00分

(2) 試験会場

試験会場案内図



〈交通機関〉

J R「東静岡駅」より徒歩約5分  
又は、静岡鉄道「長沼駅」より徒歩約1分



〈交通機関〉

J R「東静岡駅」より徒歩約20分  
又は、J R「静岡駅」北口⑧B番、南口⑩番、「小鹿局前」下車

注1) 試験会場は収容人員等の関係で他の試験会場に変更になる場合もありますので、受験票で必ず確認してください。

注2) 試験会場及びその周辺での自動車の駐車は一切できません。スーパー、コンビニ等に無断駐車等をした場合、試験時間中であっても自動車等の移動を命ずることがあります。この場合、再入場はできません。

注3) 試験会場への電話の問い合わせは絶対にしないでください。

注4) 交通機関については事前にご確認ください。

### 3 受験願書の申請方法及び申請場所

受験願書の申請方法には、書面申請と電子申請の2通りがあります。

具体的な受験手続については、4ページの6受験手続をご覧ください。

(1) 書面申請

ア 申請場所

一般財団法人消防試験研究センター静岡県支部

〒420-0034 静岡市葵区常磐町1-4-11 杉徳ビル4F

イ 申請方法

持参・郵送のいずれでもかまいません。(願書受付期間内)

- ・持参の場合の受付時間は、午前9時から午後5時までです(土・日・祝日・年末年始を除く)。
- ・郵送の場合は、配付の専用封筒を使用して特定記録郵便扱いで提出してください。締切日当日の消印有効です。また、特定記録郵便の受領証は受験票が届くまで保管してください。  
なお、普通郵便等による不着の場合、当センターは一切関与しませんのでご了承願います。
- ・申請期間を過ぎてからの受験の取り止め、受験日の変更、受験種類の変更及び科目免除の変更の申し出には応じられません。受付期間を過ぎた受験願書及び記載事項に著しい不備のある受験願書は受理できません。この場合は受験申請書類を返却いたします。受験申請書類の返却の費用は、本人負担となります。

(2) 電子申請

ア 申請方法

電子申請の受付時間は、受付開始日の午前9時から受付最終日の23時59分に申請手続きが完了しているものまで、その間は24時間受け付けます。

イ 申請上の注意事項

電子申請については、当センターのホームページ(<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>)に詳細な利用方法や、Q&Aが掲載されていますので、電子申請に当たっては、必ずこれをご確認のうえ申し込んでください。

なお、電子申請に関する問合せは下記までお願いします。

一般財団法人消防試験研究センター 電子申請室

専用電話(全国共通) 0570-07-1000 受付時間 9時~17時(土・日・祝日・年末年始を除く)

(3) 当センターへ一旦提出し、受理された受験申請書類は、一切お返しできません。

## 4 受験資格

(1) 甲種消防設備士試験

甲種消防設備士試験は、一定の受験資格が必要です。

12ページ以降の「甲種消防設備士試験の受験資格」を参照してください。

(2) 乙種消防設備士試験

受験資格は必要ありません。

(3) 証明書類が外国語の場合には、日本語訳を添付してください。

## 5 試験種類・試験科目・問題数・試験時間及び試験科目の一部免除

(1) 試験科目、問題数及び試験時間

試験種類	試験科目		問題数	試験時間
甲種特類	筆記	消防関係法令	15	2時間45分
		構造・機能及び工事・整備	15	
		火災及び防火に関する知識	15	
	計	45		

試験種類	試験科目		問題数・類別							試験時間 (科目免除のない場合)		
			一類	二類	三類	四類	五類	六類	七類	区分別	計	
甲種 (特類以外)	筆記	消防関係法令	共通	8	8	8	8	8	—	2時間15分	3時間15分	
			類別	7	7	7	7	7	—			
		基礎的知識	機械	6	6	6	—	10	—			
			電気	4	4	4	10	—	—			
			構造・機能及び工事・整備	機械	10	10	10	—	12			—
				電気	6	6	6	12	—			—
	規格	4	4	4	8	8	—					
	計	45	45	45	45	45	—					
	実技	鑑別等	5					—	15分			
		製図	2					—	45分			

試験種類	試験科目		問題数・類別							試験時間 (科目免除のない場合)		
			一類	二類	三類	四類	五類	六類	七類	区分別	計	
乙種	筆記	消防関係法令	共通	6	6	6	6	6	6	1時間30分	1時間45分	
			類別	4	4	4	4	4	4			4
		基礎的知識	機械	3	3	3	—	5	5			—
			電気	2	2	2	5	—	—			5
	構造・機能及び整備	機械	8	8	8	—	9	9	—			
		電気	4	4	4	9	—	—	9			
		規格	3	3	3	6	6	6	6			
	計	30	30	30	30	30	30	30				
実技	鑑別等	5					—	15分				

(2) 試験科目の一部免除

下表の①～⑥に該当する方は、**申請により試験科目の一部免除を受けることができます。**受験願書の試験の免除欄の「受ける」か「受けない」のいずれかに必ず○を記入してください。この場合の試験時間は、短縮になります。(甲種特類を除きます。) 該当する証明書類を貼付してください。

電子申請の場合は、消防設備士免状の免状番号を電子申請入力画面で入力し、科目免除を「受ける」「受けない」を選択してください。消防設備士免状のコピーは不要です。

なお、電子申請では、消防設備士以外の資格で科目免除を受けることはできません。

	該当者	免除内容	証明書類
①	消防設備士免状を有する方	下記の「消防設備士免状を有する方の免除科目一覧表」とおおりです。	消防設備士免状のコピー（表・裏両面）
②	電気工事士免状を有する方	ア 前記(1)表の筆記の「基礎的知識」及び「構造・機能及び工事・整備」（乙種試験にあっては「構造・機能及び整備」。以下のこの表において同じ。）のうち電気に関する部分 イ 甲種第4類・乙種第4類の実技は、鑑別等試験の一部が免除になり、乙種第7類の実技は全部免除になります。	電気工事士免状のコピー
③	電気主任技術者免状を有する方	前記(1)表の筆記の「基礎的知識」及び「構造・機能及び工事・整備」のうち電気に関する部分	電気主任技術者免状のコピー
④	技術士登録証等を有する方（機械、電気、電子、化学、衛生工学部門）	技術士の部門に応じて前記(1)表の筆記の「基礎的知識」及び「構造・機能及び工事・整備」	技術士第2次試験若しくは本試験の合格証明書（原本）又は技術士登録証のコピー
⑤	日本消防検定協会又は登録検定機関の職員で、型式承認の試験の実施業務に2年以上従事した方	前記(1)表の筆記の「基礎的知識」及び「構造・機能及び工事・整備」	型式承認試験の実施業務の従事証明書（原本）
⑥	消防団員として5年以上勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち専科教育の機関科を修了した方	乙種第5類・第6類の筆記は「基礎的知識」のうち機械に関する部分、実技は全部免除になります。	消防団員歴の証明書及び消防学校の教育（機関科）修了証のコピー

消防設備士免状を有する方の免除科目一覧表

受験する試験の種類	既に取得している資格種類					受験する試験の種類	既に取得している資格種類											
	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5		甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
甲1	○	◎	◎	○	○	乙1	○	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○
甲2	◎	◎	◎	○	○	乙2	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○
甲3	◎	◎	◎	○	○	乙3	◎	◎	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○
甲4	○	○	○	◎	○	乙4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○
甲5	○	○	○	○	◎	乙5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○
※ 乙種消防設備士の資格で、甲種消防設備士の科目免除はありません。						乙6	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	◎	○	○
						乙7	○	○	○	◎	○	○	○	○	◎	○	○	○

※ 表中で ◎は消防関係法令の共通部分と基礎的知識が免除になります。

○は消防関係法令の共通部分が免除になります。

## 6 受験手続

受験願書の申請方法は、書面申請と電子申請の2通りがあります。

### (1) 書面申請

受験する種類ごとに、次の書類が必要です。

#### ア 受験願書

記入例（5～6ページ）を参考に必要事項を記入してください。

#### イ 当センター指定の「振替払込受付証明書（お客さま用）（日附印のあるもの）」（6ページを参照）

#### ウ 甲種消防設備士試験を受験する方は、受験資格を証明する書類（12ページ以降の「甲種消防設備士試験の受験資格」を参照）

過去に甲種の試験を受験したときの受験票若しくは受験票（控）又は試験結果通知書（資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。コピー可）を提出することにより、甲種の受験資格の証明に代えることができます。ただし、「工事補助5年」の受験資格の場合は、添付する過去の受験票等と同じ指定区分を受験する場合があります。

#### エ 既に消防設備士免状を取得している方は、既得免状のコピー（表・裏両面）

#### オ 試験の一部免除を受ける方は、免除の資格を証明する書類（前記5(2)参照）

# 消防設備士試験受験願書〔記入例〕

- ◎ 願書は必ず本人が記入してください。
- ◎ 受験願書A面の「記入上の注意」をよく読んでから記入例にしたがって記入してください。
- ◎ A面及びB面があり、複写式となっています。折ったり、曲げたりしないでください。
- ◎ 黒色のボールペンでかい書で正しく書いてください。
- ◎ 書き損じた場合は、横2本線を引いてそのすぐ上に正しく書いてください。
- ◎ 年月日を記入するすべての欄は、1桁の数字の場合、0を前に付けてください。
- ◎ メールアドレス（任意）を記入された方で迷惑メール対策等の設定をされている方は、当支部のメールが届くよう、ドメイン指定受信等の設定（ドメイン名 shoubo-shiken.or.jp）を行ってください。

## A面 12 消防設備士試験受験願書（全国共通）

左づめで記入してください。外国籍の受験者は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。

申請する日を記入してください。

本籍の都道府県名を記入してください。外国人の方は、「外国籍」と記入してください。



左づめで記入してください。また、カナ氏名の濁点、半濁点は1マスを使用してください。

郵便番号は、正確に記入し、住所は現に居住している所を都道府県名から記入してください。また、濁点・半濁点が入る場合には、1マスに入れてください。団地、マンションの名称まで詳しく記入してください。

一般財団法人	消防試験研究センター理事長 殿	都道府県名	静岡県	申請日	令和 06 年 06 月 13 日
申請者名	シヨウボウ	氏名	太郎	フリガナ・氏名は、氏と名に分けて、左づめで記入してください。	
生年月日	大 昭 平 令 60 年 01 月 16 日生	本籍	静岡	都道府県	本 籍 地 22
郵便番号	420-0853	必ず記入してください	追	自宅電話番号又は携帯電話番号	054-271-7140
住所	静岡県静岡市葵区夫手町		勤務先名又は学校名		
	1-1-9		連絡先電話番号(携帯電話も可)		
	コーポ追手118号		内線( )		

試験日を記入してください。

試験種類を記入してください。

静岡市と記入してください。

甲種受験希望者は試験案内P12~15の「願書資格欄記入略称」により記入し証明書類を貼付してください。証明書類として過去の受験票等を使用する場合は、受験資格の略称は必ず記載してください。

試験日	令和 06 年 08 月 04 日
試験種類	甲種 乙種 第4類
受験地	静岡市
甲種受験資格	特類 特類以外 電気工事士
試験の免除	技術上等の資格による試験の免除を(受ける) (受けない) 電気工事士免状による試験の免除を(受ける) (受けない) 電気主任技術者免状による試験の免除を(受ける) (受けない) 消防設備士免状による試験の免除を(受ける) (受けない) 5年以上消防団員として勤務し、かつ、専科教育の機関科を修了したことによる試験の免除を(受ける) (受けない)
同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること	甲種 乙種 第1類 甲種 乙種 第2類

試験の免除資格のある方は資格の種類ごとに免除を「受ける」か「受けない」かに○を付けてください。「受ける」に○を付けた場合は、証明書類を貼付してください。

2種類以上の受験者は、それぞれの願書に他の種類を記入してください。

既得免状（既に交付を受けている免状）のある方は全て記入し免状のコピー（表面と裏面）を貼付してください。

免状取得の有無について記入してください	有	無	免状番号	2224 0300 0271		
取得している消防設備士免状は全部記入してください	元号コード	免状交付年月日	交付番号	入力番号	交付知事	コード
甲1						
甲2	4	03 年 09 月 16 日	00001		静岡	22
甲3						
甲4						
甲5						
乙1						
乙2						
乙3						
乙4						
乙5						
乙6	4	07 年 09 月 20 日	00010		静岡	22
乙7						

（記入上の注意）

- 免状番号は、免状写真下に記載されている番号です
- 枠は該当するものに○を記入してください
- 本用紙は、黒色のボールペンを使用し「かい書」で記入してください
- 本用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください
- ※印は、記入しないでください

申請する日を記入してください。

本籍の都道府県名を記入してください。外国人の方は、「外国籍」と記入してください。

受験願書B面裏の「都道府県コード」を記入してください。

書類等に不備があった場合の連絡手段として、メールによる連絡を希望する方は、メールアドレスを記入してください。（携帯電話アドレス可）

3ヶ月以内に静岡県以外の都道府県で申請又は受験した場合は記入してください。

主となるものに○をつけてください

免状写真真下に記載されている番号です

# B面

### 試験受験願書

申請日 年 月 日

本籍 都道府県

〒 電話番号 携帯電話番号

勤務先等連絡先 連絡先電話番号

〒 内線

ここに「振替払込受付証明書」を貼ってください。

振替払込受付証明書(お客さま用)  
(ご依頼人様またはゆうちょ銀行のご依頼人)

一般財団法人  
消防試験研究センター  
00170-3-136220

静岡県葵区追手町119  
コーポ追手118号室  
消防太郎

電話番号 054-271-7140

6.6.12  
00000

※受験番号

### 各種証明書

この部分にのりづけ  
なお、この部分に「振替払込受付証明書」

#### 都道府県等コード

北海道01	福島07	東京13	山梨19	滋賀
青森02	茨城08	神奈川14	長野20	京都
岩手03	栃木09	新潟15	岐阜21	大阪
宮城04	群馬10	富山16	静岡22	兵庫
秋田05	群馬11	石川17	愛知23	奈良29
山形06	千葉12	福井18	三重24	和歌山30

#### 消防用設備等実務経験証明書

氏名 年月日生

経験内容 1 整備経験 2 工事補助経験  
3 その他( )

実務経験期間 年月日から 年月日まで  
( 年 月)

消防用設備等の種類

上記のとおり相違ないことを証明します。

証明年月日 年 月 日

事業所名 印

証明者 役職 印  
氏名 印  
電話

既得消防設備士免状(コピー)貼付欄

裏

各種証明書等をこの部分にのりつけてください。

実務経験で甲種を受験する方のみ必要です。  
※12ページの3及び14ページの9参照  
該当する経験内容に○をつけてください。  
\* 整備経験は、乙種消防設備士免状の交付を受けた後2年以上消防用設備等の整備の経験を有する方。  
\* 工事補助経験は、消防用設備等の工事の補助者として5年以上の実務経験を有する方。

整備または工事補助をした消防用設備等の具体的な名称を記入してください。


事業所(会社等)の印

証明者の私印

消防設備士免状を取得している方は、免状のコピーを貼ってください。

## 【当センター指定の振込用紙：原寸を縮小】

試験手数料は、(一財)消防試験研究センターのホームページ又は各都道府県支部の窓口で確認してください。



消防試験研究センター 検索

### 郵便局(ゆうちょ銀行)窓口用用紙

1. 手数料は、必ず郵便局(ゆうちょ銀行)の窓口で払い込んでください。
2. この用紙でATM(現金自動預払機)による払込みは、行わないでください。
3. 金額の訂正は無効ですので、左記QRコード等でよく確認して記入してください。誤った金額を記入してしまった場合は、新しい払込用紙に記入しなおしてください。
4. 受験願書(B面)には、必ず日附印がある「振替払込受付証明書(お客さま用)」を貼ってください。
5. 本人控えである「振替払込請求書兼受領証」は、ご本人が大切に保管してください。

※ 試験手数料については、非課税です。

↓

郵便局・ゆうちょ銀行で回収されます

00 東京 払込取扱票

日附記号番号 金額

001703 136220

一般財団法人  
消防試験研究センター  
静岡県葵区追手町119  
コーポ追手118号室

氏名 消防太郎  
(電話 054-271-7140)

日附印 6.6.12  
00000

本人控え

振替払込請求書兼受領証

日附記号番号 金額

001703 136220

一般財団法人  
消防試験研究センター

氏名 消防太郎  
(電話 054-271-7140)

料金額 円 6.6.12  
00000

受験願書に貼付する部分

振替払込受付証明書(お客さま用)  
この受付証明書に日附印を押しし、後欄に交付してください。

加入者名 郵便番号 口座番号

一般財団法人  
消防試験研究センター  
00170-3-136220

ご依頼人住所  
静岡県葵区追手町119  
コーポ追手118号室

氏名 消防太郎  
(電話 054-271-7140)

日附印 6.6.12  
00000

貼付してください

日附印なき証明書は無効  
(私法人の消防試験研究センター)

試験手数料はP.7で確認してください。

## (2) 電子申請

ア 電子申請ができる試験種別は、次のとおりで、1日の試験で1種類のみです。

ただし、消防設備士免状以外の各種証明書類等の提出が必要な方は、書面申請をお願いします。

(ア) 既得消防設備士免状を受験資格要件とする甲種全類

(イ) 乙種全類

イ 再受験における電子申請について

現在、証明書の必要な受験については、電子申請することができません。

なお、過去3年以内に受験し、同じ試験種別を再度受験する場合には、証明書は不要で、電子申請することができます。(過去3年以内に受験したときの受験票若しくは受験票(控)又は試験結果通知書が必要)

ウ 電子申請される場合には、当センターのホームページ (<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>) を必ずご覧ください。

## 7 試験手数料

(1) 試験の手数料(非課税)は、右表のとおりです。

甲種	乙種
6,600円	4,400円

### (2) 書面申請

ア 当センター指定の払込用紙を使って、試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください(自動払込機で払い込んだ場合でも、窓口で「振替払込受付証明書(お客さま用)」に日附印を受けてください)。なお、払込みには、別に所定の手数料が必要となります。

イ 次に「振替払込受付証明書(お客さま用)」を受験願書用紙B面の試験手数料欄にのり付けしてください。(本人用の「振替払込請求書兼受領書」を貼らないように注意してください。)

「振替払込受付証明書(お客さま用)」を紛失、汚損等により受験願書に貼付できない場合、当センターでは責任を負えませんので、くれぐれも紛失、汚損等しないようにしてください。

紛失、汚損等した場合は、再度払込みの上、新たな「振替払込受付証明書(お客さま用)」を受験願書に貼り付けてください。

なお、再度払い込みをした後で、紛失した「振替払込受付証明書(お客さま用)」を発見したときは、還付申請により先に払い込まれた試験手数料をお返しします。

ウ 事業所等から一括して払い込む場合は、「振替払込受付証明書(お客さま用)」の「ご依頼人住所氏名」欄に受験される方のうち代表者の「氏名」と「払込人数」を記入し、代表者の願書に貼ってください。代表者以外の人については、「代表者氏名」を貼付場所に記入してください。この場合、願書は一括して提出してください。

### (3) 電子申請

払込方法は、次の決済方法から選択できます。

試験手数料の払込みには、所定の払込手数料が必要になります。

ア ペイジー(Pay-easy)決済 ※情報リンク方式、オンライン方式

イ コンビニエンスストア決済(セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート)

ウ クレジットカード決済(VISA、MasterCard、JCB、アメリカンエキスプレス、ダイナース)

(4) **一旦、払い込みされた試験手数料は、お返しできません。**

## 8 受験票及び写真

### (1) 受験票の送付方法

ア 書面申請の場合

受験票は、試験日のおおむね10日前までに郵送します。受験票が届きましたら、試験日時、試験種類、試験会場、試験の一部免除の内容等を必ず確認してください。**受験票が届かない場合は試験日5日前(平日9時から17時)までに裏表紙の問い合わせ先に必ずご連絡ください。**

**受験票(写真貼付)は、試験当日、必ず持参してください。**



イ 電子申請の場合

申請時に入力された電子メールアドレスあてに受験票がダウンロードできる旨のメールを、試験日のおおむね10日前までに、当センターから送信します。未着の場合は試験日5日前（平日9時から17時）までに裏表紙の問い合わせ先に必ずご連絡ください。

**受験者本人が受験票をダウンロードして印刷し、受験票（写真貼付）は、試験当日、必ず持参してください。**

(2) 写真（書面申請、電子申請共通）

**受験時の本人確認及び合格後の免状の写真に使用しますので、試験当日は、写真を貼った受験票を必ず持参してください。以下の写真の条件を確認して受験票にのり付けしてください。（セロハンテープ使用不可）**

【写真の条件】

- ・受験日前6ヶ月以内に撮影した（カラー・白黒どちらでも可）鮮明なもの
- ・正面、無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く）、無背景、上三分身像のもの
- ・縦4.5cm、横3.5cm又はパスポート規格の大きさ、枠無しのもの
- ・裏面に氏名、年齢及び撮影年月日が記載されているもの
- ・デジタル写真は、従来の写真と同等以上の高画質で印刷したもの（写真専用紙を使用）
- ・髪が目にかからないこと、また、サングラスやマスクを着用したものは不可

(3) 受験票の氏名欄には受験者の氏名をかい書で記入してください。

## 9 試験当日の注意事項

- (1) 鉛筆又はシャープペンシル以外の筆記用具（ボールペン等）を使用し、解答カードにマークした場合には、機械が読み取れず、0点となることがありますので、絶対に使用しないでください。
- (2) 受験票を持参しないと受験できません。
- (3) 受験票に前記8(2)に示した写真を貼付していない又は貼付写真が不鮮明な場合には受験できません。
- (4) 試験問題集及び解答カードは持ち帰ることはできません。また、問題集の一部を切り取ったりカメラ等で撮影することもできません。このような行為は、失格となりますので注意してください。
- (5) 参考書、法令集等の参照は一切できません。
- (6) 試験室内では、スマートフォン、スマートウォッチ等の通信機器等は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。
- (7) カンニング等により不正行為とみなされた場合、受験は直ちに中止、退室となり、試験は失格となります。

【書面申請者用受験票】（※受験票はイメージです）

※ 受験票は、試験日のおおむね10日前までに郵送します。

受験票が届かない場合は、試験日5日前（平日9時から17時）までに裏表紙の問い合わせ先に必ずご連絡ください。

**試験当日は、この受験票（写真貼付）を必ず持参してください**

郵便はがき		<b>消防設備士試験 受験票（控）</b>																																	
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>受験番号</td> <td>01-0001</td> <td>試験の種類</td> <td>乙種第4類</td> </tr> <tr> <td>カナ氏名</td> <td colspan="3">シケン タロウ</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td colspan="3">試験 太郎</td> </tr> <tr> <td>試験日時</td> <td colspan="3">〇〇年〇月〇日【1/2】 〇時〇分集合 〇時〇分試験開始</td> </tr> <tr> <td>試験会場</td> <td colspan="3">〇〇〇会場 〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3</td> </tr> <tr> <td>(試験室)</td> <td colspan="3">0101教室</td> </tr> <tr> <td>免除科目</td> <td>免除科目なし</td> <td>資格判定コード</td> <td>00</td> </tr> <tr> <td>既得免状</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>			受験番号	01-0001	試験の種類	乙種第4類	カナ氏名	シケン タロウ			氏名	試験 太郎			試験日時	〇〇年〇月〇日【1/2】 〇時〇分集合 〇時〇分試験開始			試験会場	〇〇〇会場 〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3			(試験室)	0101教室			免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00	既得免状			
受験番号	01-0001	試験の種類	乙種第4類																																
カナ氏名	シケン タロウ																																		
氏名	試験 太郎																																		
試験日時	〇〇年〇月〇日【1/2】 〇時〇分集合 〇時〇分試験開始																																		
試験会場	〇〇〇会場 〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3																																		
(試験室)	0101教室																																		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00																																
既得免状																																			
<p>999-9999</p> <p>〇〇県〇〇市〇〇町 1-2-3-45</p> <p>試験 太郎 様</p>		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>受験番号</td> <td>01-0001</td> <td>試験の種類</td> <td>乙種第4類</td> </tr> <tr> <td>カナ氏名</td> <td colspan="3">シケン タロウ</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td colspan="3">受験者氏名を「かい書」で記入してください。 試験 太郎</td> </tr> <tr> <td>試験日時</td> <td colspan="3">〇〇年〇月〇日【1/2】 〇時〇分集合 〇時〇分試験開始</td> </tr> <tr> <td>試験会場</td> <td colspan="3">〇〇〇会場 〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3</td> </tr> <tr> <td>(試験室)</td> <td colspan="3">0101教室</td> </tr> <tr> <td>免除科目</td> <td>免除科目なし</td> <td>資格判定コード</td> <td>00</td> </tr> <tr> <td>既得免状</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>		受験番号	01-0001	試験の種類	乙種第4類	カナ氏名	シケン タロウ			氏名	受験者氏名を「かい書」で記入してください。 試験 太郎			試験日時	〇〇年〇月〇日【1/2】 〇時〇分集合 〇時〇分試験開始			試験会場	〇〇〇会場 〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3			(試験室)	0101教室			免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00	既得免状			
受験番号	01-0001	試験の種類	乙種第4類																																
カナ氏名	シケン タロウ																																		
氏名	受験者氏名を「かい書」で記入してください。 試験 太郎																																		
試験日時	〇〇年〇月〇日【1/2】 〇時〇分集合 〇時〇分試験開始																																		
試験会場	〇〇〇会場 〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3																																		
(試験室)	0101教室																																		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00																																
既得免状																																			
<p><b>受験票</b></p> <p>(一財) 消防試験研究センター 静岡県支部 〒420-0034 静岡県静岡市葵区常磐町1-4-11 杉徳ビル4階 TEL 054-271-7140 999 9999</p>		<p>消防設備士試験 受験票</p> <p style="text-align: center;"><b>写 真</b></p> <p style="text-align: center;">縦4.5cm×横3.5cm</p> <p>写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載 6ヶ月以内に撮影したもの (正面、無帽、無背景、上三分身像、又はパスポート規格) しっかりとのり付けてください。(セロハンテープ不可)</p> <p>80242303200800100012 □□□ 001-01-0001 00001 999 9999 試験当日、この受験票は回収します。</p>																																	

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。受験票裏面の注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。次の場合は受験することができません。

- 1 受験票がない場合
- 2 受験票に写真を貼っていない場合
- 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合

この受験票（控）は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要ですので、大切に保管してください。

[電子申請者用受験票] (※受験票はイメージです)

※申請時に入力された電子メールアドレスあてに受験票がダウンロードできる旨のメールを、試験日のおおむね10日前までに当センターから送信します。

受験票がダウンロードできない場合は、試験日5日前(平日9時から17時)までに裏表紙の問い合わせ先に必ずご連絡ください。

試験当日は、この受験票(写真貼付)を必ず持参してください

注意事項

- 1 次の場合は受験することができません。
  - (1) 受験票がない場合
  - (2) 受験票に写真を貼っていない場合
  - (3) 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
- 2 受験票に記載している集合時間までに入室してください。
- 3 受験票、鉛筆(B又はHB)、消しゴムを持参してください。
- 4 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。
- 5 不正行為及び係員の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とします。
- 6 本人確認のため、身分証明書(運転免許証等)の提示をお願いすることがあります。
- 7 電話による可否の問い合わせには、応じられません。
- 8 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは当センターと一切関係ありませんので、注意してください。
- 9 試験日時の変更が生じた場合は、当センターのホームページに緊急情報又は各支部からの重要なお知らせとして掲示します。

(一財) 消防試験研究センター 静岡県支部  
 〒420-0034 TEL 054-271-7140  
 静岡県静岡市葵区常磐町1-4-11 杉徳ビル4階

消防設備士試験 受験票

写真

縦4.5cm×横3.5cm

写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載  
 6ヶ月以内に撮影したもの  
 (正面、無帽、無背景、上三分身像、又はパスポート規格)  
 しっかりとり付けてください。(セロハンテープ不可)

受験番号	01-0002	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	シケン ジロウ		
氏名	受験者氏名を「かき書」で記入してください。 試験 次郎		
試験日時	〇〇年〇〇月〇〇日 [1/2] 〇〇時〇〇分集合 〇〇時〇〇分試験開始		
試験会場	〇〇〇会場 〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3		
(試験室)	0101教室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00
既得免状			

80242303200800100021    
 001-01-0001 60001 999 9999  
 試験当日、この受験票は回収します。

消防設備士試験 受験票(控)

受験番号	01-0002	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	シケン ジロウ		
氏名	試験 次郎		
試験日時	〇〇年〇〇月〇〇日 [1/2] 〇〇時〇〇分集合 〇〇時〇〇分試験開始		
試験会場	〇〇〇会場 〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3		
(試験室)	0101教室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00
既得免状			
受験者現住所	〇〇県〇〇市〇〇町 1-23-45		

注:記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。  
 注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。  
 次の場合は受験することができません。  
 1 受験票がない場合  
 2 受験票に写真を貼っていない場合  
 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合  
 この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要ですので、大切に保管してください。

## 10 試験の方法

- (1) 試験種類、試験科目、問題数、試験時間及び試験科目の一部免除については、前記5(1)(2)を参照してください。
- (2) 筆記試験は、4肢択一式で行います。
- (3) 実技試験は、「鑑別等」及び「製図」とも、写真、イラスト、図面等による記述式で行います。

## 11 複数種類の受験

- (1) 午前の部と午後の部に、それぞれ1種類ずつ合計2種類まで受験することができます。  
また、「電気工事士」の免状を有し、試験の一部免除を受ける方は、「甲種第4類及び乙種第7類」又は「乙種第4類及び乙種第7類」の組み合わせに限り、午後の部に2種類の試験を同時に受験できます。
- (2) 複数種類受験する方は、試験の種類ごとに受験願書を作成し、同一封筒で郵送又は持参してください。

※電子申請では、同一試験日に1種類のみを受験申込となりますので、複数種類の受験を希望する場合は、書面による申請を行ってください。

## 12 合格基準

- (1) 甲種特類  
筆記試験において、「消防関係法令」、「工事整備対象設備等の構造、機能及び工事又は整備の方法」、「工事整備対象設備等の性能に関する火災及び防火に係る知識」の各科目ごとの成績が40%以上で、かつ全体の出題数の60%以上の成績を修めた方を合格とします。実技試験はありません。
- (2) 甲種（特類以外）及び乙種  
「消防関係法令」、「機械又は電気に関する基礎的知識」、「消防用設備等の構造、機能及び工事又は整備の方法」の各科目ごとの成績が40%以上で全体の出題数の60%以上、かつ、実技試験において60%以上の成績を修めた方を合格とします。  
なお、試験の一部免除がある場合は、免除を受けた以外の問題で上記の成績を修めた方を合格とします。

## 13 合格発表

- (1) 合格発表予定日は、前記1を参照してください。
- (2) 試験結果は受験者全員に郵便ハガキで通知するとともに、当支部に合格者の受験番号を公示します。合格発表日の正午から当センターのホームページにも合格者の受験番号を掲示します。
- (3) 試験結果通知書には筆記試験及び実技試験の正答率(%)が表示されます。
  - ・筆記試験は、筆記全体及び試験科目ごとの正答率(%)になります。
  - ・実技試験は、実技全体の正答率(%)になります。
- (4) 実技試験の採点は、消防法施行規則第33条の9の規定により、筆記試験が合格基準に達した方を対象としています。
- (5) 試験結果の合否に関する電話による問い合わせ、試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。
- (6) 試験会場外での業者による試験結果通知の有料サービスは、当センターとは関係ありませんので注意してください。

## 14 その他・注意事項

- (1) 試験当日は写真を貼った受験票、鉛筆又はシャープペンシル(HB又はB)と消しゴムを必ず持参してください。
- (2) テンプレート等の定規類、電卓、携帯電話(スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類を含む。時計としての使用不可。)等は一切使用できません。
- (3) 試験開始30分前に集合し、受験に当たっての注意事項の説明を受けてください。

- (4) 試験会場には車を使用しないでください。
- (5) 咳エチケットや手指の消毒の御協力をお願いいたします。また、会場内での会話はお控えください。
- (6) 試験会場は全面禁煙です。また、試験会場周辺にタバコのすいがら等を捨てないでください。
- (7) 試験会場には問い合わせをしないでください。

## 15 試験合格後の免状交付申請の手続き

### (1) 申請の方法

免状交付申請書（試験結果通知書と一連で印刷されています）で指定する期日までに、次の書類等を当支部へ郵送又は持参してください。ただし、期日より申請が遅れた場合は、免状の交付が遅れます。

### (2) 提出する書類等

#### ア 免状交付申請書及び試験結果通知書

記載事項に誤りがないか確認し、申請年月日、申請者氏名（合格者本人）及び連絡先電話番号（職場等及び自宅）を記入してください。誤りがあった場合は、赤のボールペン等で修正してください。

免状交付申請書と試験結果通知書は切り離さないでください。

#### イ 交付手数料

合格一種類につき**2,900円分の静岡県収入証紙（収入印紙ではありません）**を交付申請書の裏面に重ねないように貼ってください。

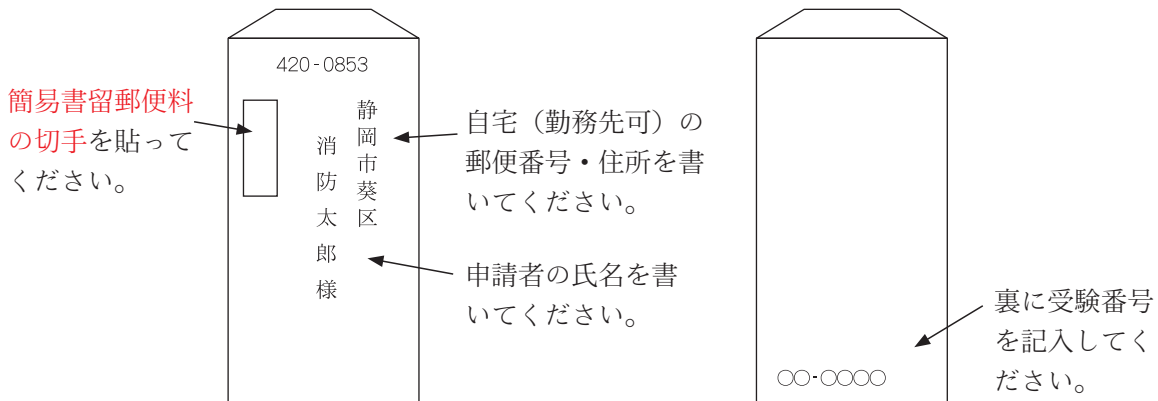
静岡県収入証紙は、静岡県下の各市役所・町役場、交通安全協会（警察署内）等で販売しています。

#### ウ 新規免状送付用封筒（新たに交付された免状を申請者にお送りするための封筒）

**免状は郵送します。**市販の定形封筒（長さ 14～23.5cm、幅 9～12cmのもの）のおもて面に住所・氏名を記入し、**簡易書留郵便料の切手**を貼り、うら面左下に受験番号を記入してください。複数の種類に合格された方でも封筒は1枚です。

なお、事業所等で複数名分を一括して免状の送付を希望される場合は、郵便料金についてお問い合わせください。

#### 免状返送用封筒の作成例



#### エ 既得消防設備士免状

既に他の種類の消防設備士免状を持っている方は、新しい免状に既得免状内容を併記しますので、**既得免状を必ず提出してください。**

なお、免状提出中に行われる法定講習を受講する方は、講習当日、免状は交付申請中である旨、講習実施機関事務局に申し出てください。

#### オ その他

- ・複数の種類の試験に合格した場合は、それぞれの種類ごとに免状の交付申請が必要です。
- ・試験日から6ヶ月以上経過後に申請する場合は、撮影後6ヶ月以内の写真を1枚添えてください。

## 甲種消防設備士試験の受験資格

部分はコピーで支障ありません。

次表に示す対象者に該当する方は、甲種消防設備士試験の受験資格があります。

### 特類

対象者	内 容	願書資格欄 記入略称	証明書類
「甲種消防設備士免状」の交付を受けている者	甲種第1類～第3類のうちいずれか1つ以上を有し、かつ、甲種第4類及び甲種第5類の取得者	甲 特	免 状

### 特類以外

対象者	内 容	願書資格欄 記入略称	証明書類
1 「甲種消防設備士免状」の交付を受けている者	試験科目の一部免除あり (受験する類と既得免状の類により異なります)	甲 種	免 状
2 学校教育法による大学、高等専門学校(5年制)、高等学校又は中等教育学校において機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する学科又は課程を修めて「卒業した者」(当該学科又は課程を修めて同法による専門職大学の前期課程を修了した者を含む。)	(1) 別表1「指定学科一覧表」(16ページ)に示す学科を卒業した者  (2) 大学、短期大学又は高等専門学校において左記に掲げた学科に関する科目を15単位以上修得して卒業した者(当該科目を修めて同法による専門職大学の前期課程を修了した者を含む。)(別表2「授業科目一覧表」(17～18ページ)に示す科目で算定)  (3) 高等学校又は中等教育学校において左記に掲げた学科に関する科目を8単位以上修得して卒業した者(別表2「授業科目一覧表」(17～18ページ)に示す科目で算定)	大卒、短大卒、高専卒、専門職了、高校卒、中等教育卒  大学等卒15単位  高校等卒8単位	卒業証書 又は卒業証明書 (学科等の名称が明記されているもの) 単位修得証明書  卒業証書 又は卒業証明書 及び単位修得証明書 (学科等の名称が明記されているもの)
3 「乙種消防設備士免状」の交付を受けた後2年以上、工事整備対象設備等の整備の経験を有する者	消防設備士でなければ行えない工事整備対象設備の整備の経験を有する者 (法第17条の5の規定に基づく政令に定めるものに限る)	整備経験2年	免状及び 実務経験証明書 (様式は願書2枚目裏)
4 学校教育法による大学、高等専門学校、大学院又は専修学校に「在学中又は中途退学した者等」で、機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する科目を15単位以上修得した者	(1) 大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校(5年制)、大学院又は専門職大学院において、左記に掲げた学科に関する授業科目(別表2「授業科目一覧表」(17～18ページ)を15単位以上修得した者  (2) 学校教育法第124条に定める専修学校(「専門学校」)において左記に掲げた学科に関する授業科目(別表2「授業科目一覧表」(17～18ページ)を15単位以上修得した者 ただし、単位制度のない専修学校にあっては、講義については15時間、演習については30時間、実験、実習及び実技については45時間の授業をそれぞれ1単位として15単位以上修得した者	大学等15単位  専 修 学 校	単位修得証明書  単位修得証明書

対 象 者	内 容	願書資格欄 記入略称	証 明 書 類
<p>5 学校教育法による「各種学校その他消防庁長官が定める学校」において機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する科目を、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義については15時間</li> <li>・演習については30時間</li> <li>・実験、実習及び実技については45時間</li> </ul> <p>の授業をもってそれぞれ1単位として15単位以上修得した者</p> <p>授業科目については「授業科目一覧表」（17～18ページ）を参照</p>	<p>(1) 学校教育法第134条第1項に定める各種学校</p> <p>(2) 学校教育法による大学、短期大学又は高等専門学校学校の専攻科</p> <p>(3) 防衛省設置法による防衛大学校又は防衛医科大学校</p> <p>(4) 職業能力開発促進法による職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校又は職業能力開発短期大学校</p> <p>(5) 職業能力開発促進法及び雇用促進事業団法の一部を改正する法律（平成9年）による改正前の職業能力開発促進法による職業能力開発大学校又は職業能力開発短期大学校</p> <p>(6) 職業能力開発促進法の一部を改正する法律（平成4年）による改正前の職業能力開発促進法による職業訓練大学校又は職業訓練短期大学校</p> <p>(7) 職業訓練法の一部を改正する法律（昭和60年）による改正前の職業訓練法による職業訓練大学校又は職業訓練短期大学校</p> <p>(8) 職業能力開発促進法附則第2条による廃止前の職業訓練法（昭和33年）による職業訓練大学校</p> <p>(9) 雇用対策法（昭和41年）附則第7条による改正前の職業訓練法による中央職業訓練所</p> <p>(10) 独立行政法人水産大学校（平成13年4月1日前の農林水産省組織令（平成12年）による水産大学校、旧農林水産省組織令（昭和27年）による水産大学校及び昭和59年7月1日前の旧農林水産省設置法（昭和24年）による水産大学校を含む）</p> <p>(11) 国土交通省組織令による海上保安大学校（旧運輸省組織令（昭和59年）による海上保安大学校及び昭和59年7月1日前の海上保安庁法による海上保安大学校を含む）</p> <p>(12) 国土交通省組織令による気象大学校（旧運輸省組織令による気象大学校及び昭和59年7月1日前の旧運輸省設置法による気象大学校を含む）</p>	<p>各 種 学 校 大学、短大、高専の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校 職業能力開発総合大学校等 職業能力開発大学校等 職業訓練大学校等 前職業訓練大学校等 旧職業訓練大学校 中央職業訓練所 水 産 大 学 校 海上保安大学校 気 象 大 学 校</p>	<p>単位修得証明書 単位修得証明書 単位修得証明書 単位修得証明書 単位修得証明書 単位修得証明書 単位修得証明書 単位修得証明書 単位修得証明書 単位修得証明書 単位修得証明書 単位修得証明書 単位修得証明書 単位修得証明書 単位修得証明書</p>
<p>6 技術士法第4条第1項による「技術士」第2次試験に合格した者</p>	<p>科目免除は、類により免除を受けられる技術士の部門が指定されています（指定された部門以外は、科目免除はありません）。</p>	<p>技術士（〇〇）部門</p>	<p>合格証書又は技術士登録証</p>
<p>7 電気工事士法第2条第4項に規定する「電気工事士」（特殊電気工事資格者を除きます）</p>	<p>(1) 電気工事士免状の交付を受けている者（第1種・第2種は問わない）</p> <p>(2) 電気工事士法施行規則による旧電気工事技術者検定合格証書の所持者</p>	<p>電 気 工 事 士 検 定 合 格 者</p>	<p>免 状 検定合格証明書</p>



対 象 者	内 容	願書資格欄 記入略称	証 明 書 類
	(8) 職業能力開発促進法第44条（旧職業訓練法第66条）の規定による配管の職種に係る1級又は2級の技能検定に合格した者	配管技能士	技能検定合格証書
	(9) ガス事業法第26条の規定によるガス主任技術者免状の交付を受けている者（第4類消防設備士の受験に限ります）	ガス主任技術者	免 状
	(10) 水道法第25条の5の規定による給水装置工事主任技術者免状の交付を受けている者（旧法の資格者を含む）	給水技術者	免 状 又 は 登 録 証
	(11) 消防行政に係る事務のうち、消防用設備等に関する事務について3年以上の実務経験を有する者	消防行政3年	実務経験証明書 （様式は願書2枚目裏）
	(12) 消防法施行規則の一部を改正する省令の施行前（昭和41年）において、消防用設備等の工事について3年以上の実務経験を有する者	省令前3年	実務経験証明書 （様式は願書2枚目裏）
	(13) 昭和41年10月1日前に東京都火災予防条例による旧制度の消防設備士	条例設備士	免 状

注1) 4の大学（大学院の課程を含む）、短期大学、高等専門学校等における修得単位は、卒業、在学中、中退又は専攻科、通信教育等にかかわらず通算して算定することができます。放送大学も通算して算定できます。（大学等で発行する「単位修得証明書」によります）

注2) 「願書資格欄の記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。

注3) 受験願書の氏名と各証明書の氏名が相違している場合は、戸籍抄本等の証明書類を添付してください。ただし、既に取得している「消防設備士免状」と異なる場合は当センターにお問い合わせください。

注4) 3、9及び10-(11)、(12)の「実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書B面裏の様式を使用してください。

注5) 旧制大学、旧制専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所の卒業生及び旧制専門学校卒業程度検定試験合格者も同様の資格があります。詳細はお問い合わせください。

注6) 証明書類の網掛け（      部分）をしてある書類については、B5版位に縮小コピーしたものを願書「B面裏」に貼り付けてください。

### 書式例 単位修得証明

単位修得証明書			
年 月 日	入学 部 科		
年 月 日	修了		
氏名			
年 月 日生			
○○に関する 授業科目名	修得単位数 又は時間	○○に関する 授業科目名	修得単位数 又は時間
		計	
上記のとおり証明する。			
年 月 日			
学 校 の 所 在 地 _____			
学 校 の 名 称 _____			
証明者(学校の代表者氏名・役職名)			印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

《注》学長等が「○○に関する科目」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。



別表 1

## 指定学科一覧表（例示）

次の「学科」を修めて卒業した方は、「卒業証明書（コピー不可）」又は「卒業証書（コピー可）」の提出で受験できます。

	大学、短期大学、高等専門学校、旧制の大学、旧制の専門学校の卒業生用	高等学校、中等教育学校、旧制の中等学校の卒業生用
ア	安全工学科	
エ	衛生工学科 エネルギー工学科	
オ	応用化学科 応用機械工学科 応用精密化学科 応用電子工学科 応用反応化学科 応用理化学科	
カ	開発学科 開発工学科 海洋建築工学科 海洋土木工学科 環境化学科 環境計画工学科 環境工学科 環境整備工学科 化学機械工学科 化学工業科 画像応用工学科 画像工学科	開発機械科 化学科 化学工学科 化学工業科 環境工学科 環境土木科
キ	機械工学科 機械理学科 基礎工学科 金属工学科 機器工学科 機能機械学科 機能高分子学科 機関科 機械システム工学科	機械科 機械技術科 機械工学科 機械工作科 機械システム科 機械製図科 機械電気科 機械電子科 機関科 金属工業科
ケ	計測工学科 建設工学科 建築工学科 建築工芸学科 原動機科	計測科 計測工業科 建設科 建設工学科 建築科 建築土木科 原動機科 原動機械科
コ	工業化学科 高分子工学科 高分子材料工学科 交通機械工学科 交通工学科 光電工学科 構造工学科 構築工学科 合成化学工学科	工業科 工業化学科 工業管理科 工業技術科 工業計測科 高分子工学科 航空車両整備科
サ	産業機械工学科 材料工学科	産業技術科 材料システム科 産業技術科
シ	資源開発工学科 資源循環工学科 社会開発工学科 情報処理工学科 情報電子工学科 情報工学科	色染化学科 自動車科 自動制御科 情報技術科 情報システム科 情報電子科 情報通信科
ス	水工土木工学科	水産工学科
セ	制御機械工学科 制御工学科 生産工学科 生産精密工学科 精密機械工学科 精密工学科 石油化学科 設備工学科 繊維化学工学科 繊維工学科 繊維システム工学科 船舶機関工学科	制御機械科 生産機械科 生産システム科 精密機械科 設備科 設備工業科 設備システム科 セラミック科 繊維工学科 繊維システム科
ソ	造船学科	総合技術科 造船科
チ		地質工学科
ツ	通信工学科 通信材料工学科	通信工業科
テ	鉄鋼冶金学科 電気工学科 電気機械工学科 電機工学科 電子工学科 電波通信学科 電子電気工学科 電子物性工学科 電子理学科 電気電子システム工学科	電気科 電気化学科 電気技術科 電気工事科 電気情報科 電気通信科 電気電子科 電子科 電子機械科 電子技術科 電子工学科 電子工業科 電子情報科 電子制御科 電子電気科 電波科
ト	都市工学科 土木工学科 動力機械工学科	都市工学科 土木科 土木建築科
ネ	燃料工学科	
ノ	農業機械学科 農業土木工学科	農業機械科 農業工学科 農業土木科
ハ	船用機械工学科 船用機関科 反応化学科	
フ	物質化学工学科 物質工学科	
ム		無線通信科
ヤ		冶金科
ユ	有機材料工学科	
ヨ	溶接工学科	窯業科

注1) 「工学科」「学科」「技術」「科」等の文字の有無により学科名の異なるものは、同学科名として取り扱うものとします。

注2) 上記の指定学科には、組み合わせたものも含まれます。

(例) 機械工学－交通機械 農業機械 機械システム 機械制御 機械材料等

注3) 上記の名称を含む学科であっても、明らかに「機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する分野」と認められないものは除きます。

別表 2

## 授業科目一覧表（例示）

次の名称の授業科目は、原則として「機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する分野と認められる授業科目」として扱います。

	大学、短期大学、高等専門学校、旧制の大学、旧制の専門学校の卒業生用	高等学校、中等教育学校、旧制の中等学校の卒業生用
ア	アナログ電子回路 圧縮性流水 油空圧工学	
イ	移動工学 一般構造（土木系・建築系のみ）	インテリア装備 意匠製図
ウ	運輸施設工学	
エ	衛生工学 エネルギー工学 エンジン流体力学	衛生・防災設備 衛生設備
オ	応用化学 音響学 オプトエレクトロニクス	応用力学 織物機械
カ	ガスタービン 化学工学 火災工学 加工機械学 加工冶金学 河川工学 架橋力学 画像工学 回路理論 過渡現象論 海岸工学 海洋建築 開発機械学 完全流体力学 岩石力学 岩盤力学 環境関係（土木系・建築系のみ）	化学工学 化学工業一般 化学工場 化学装置 化学反応 環境工学
キ	CAD/CAM 気体力学 機械工学 機械製作 金属材料学 機械要素 機器制御 機器分析 機構学 機素動力学 機電変換工学 機能材料 強度設計学 給排水設備 橋梁工学 擬固加工学 基礎工学・基礎構造（土木系・建築系のみ）	機械一般 機械製作 機械・電気 機関乗船実習 金属加工 金属材料 漁船機関
ク	空気力学 空港工学 空調設備 掘削機械学	空気調和設備
ケ	系統工学 計測工学 珪酸塩工業化学 結晶塑性学 建設機械 建築力学 建築材料 建築設備 建築防災 原動機学 現代制御論 現代無機工業化学	計測回路 計測・制御 建築一般 建築構造 原動機 建築測量 原子工学一般
コ	コンクリート工学 固体力学 工業化学 工業計測 工業地質学 工業分析 工作機械 交通工学 光学 航空工学 航空材料学 高温化学 高周波工学 交流理論 高電圧工学 高度加工技術 高分子化学 港湾工学 構造工学 合成化学	工業一般 工業数理 工業化学 工業基礎 工業材料 工業分析 工芸材料力学 鉱山機械
サ	作業システム工学 砂防工学 材料学 材料力学 錯体触媒化学 産業機械	材料加工 材料技術基礎 材料製造技術 材料施工
シ	システム工学 ジェット機関 資源システム工学 地震工学 地盤工学 自動化設計 自動車工学 磁気工学 実験計測法 写真測量 車輛工学 集積回路工学 潤滑工学 商船設計 焼結工学 消防設備 照明工学 触媒化学 上下水道工学 情報工学 蒸気タービン 信号処理論 振動学	色染化学 自動車工学 自動制御 情報技術 食品化学
ス	スイッチング回路理論 水工学 水産土木工学 水質工学 水道工学 水理学 水力発電所 水路工学 数値制御システム工学 数値熱流体力学	水工 水産工学 水道 水利 水理
セ	セラミック化学 センサ工学 施工法 生合成化学 生産工学 生物化学 生体高分子 生物有機化学 制御機器 制御工学 精密加工学 製造化学 石炭工学 石油化学 切削工学 接合工学 設計工学 設備工学 船体構造工学 船舶工学 線形回路 繊維化学 繊維高分子工学	生産実習 製造機器 設備計画 設備・管理 セメント 染色 セラミック技術 船舶構造 船舶設計
ソ	塑性工学 送電 送配電工学 造船製図 装置工学 測量学	造船工学 造船実習 測量
タ	ダム工学 耐震工学 耐震耐風工学 単位操作 炭化水素化学 弾塑性力学 暖房設備	
チ	地質学 鑄造学 超音波工学 超電導（超伝導）工学 直流機器	地下資源開発 地質工学
ツ	通信工学 通信機器 通信網工学	通信工学 通信機器 通信技術

	大学、短期大学、高等専門学校、旧制の大学、旧制の専門学校の卒業生用	高等学校、中等教育学校、旧制の中等学校の卒業生用
テ	データ通信 デジタル回路 鉄筋コンクリート工学 鉄鋼材料学 鉄骨工学 鉄道工学 天然物合成化学 伝送工学 伝熱工学 電気工学 電気音響 電気機器 電気設備 電気計測 電気鉄道 電気法規 電子工学 電子装置 電子デバイス 電子要素 電子回路 電磁気学 電磁波伝送 電熱工学 電波工学 電力工学 電力系統	電気工学 電気化学 電気工事 電子工学 電子機器 電子計測 電力設備
ト	トラクタ実習 都市環境 都市工学 都市設備学 土質工学 土木工学 動力工学 道路工学 導電材料 特殊材料学 特殊鋼学	特殊材料 土質 土質力学 土木一般 土木施工 都市工学
ナ	内燃機関 軟弱地盤工学	
ニ	荷役機械	
ネ	熱工学 熱機関 熱流体力学 熱力学 粘性 燃焼工学 燃料合成化学 燃料分析化学	
ノ	能動回路 農業機械工学 農業土木学 農業揚水機 農用トラック工学 農用内燃機関学	農業機械 農業水利 農業土木設計
ハ	パルス回路 波動振動 破壊力学 配電工学 鋼構造 船用機関 発電工学 反応工学 半導体 発変電工学	発送配電 ハードウェア技術 船用機関 船用電気
ヒ	ピーエスコンクリート工学 非金属材料 光工学 光エレクトロニクス 光通信工学 光情報工学	
フ	ファインケミカル工業化学 プラズマ工学 物質強度学 プラント工学 プレストレストコンクリート工学 プロセス工学 浮体静水力学 分析化学 物理有機化学 分離精錬工学	船用機関 船用電気
ヘ	平面及び曲面構造論 変電所	
ホ	ボイラー工学 放電工学 防災工学 防災設備	放射化学 ボイラー
マ	マイクロデバイス マイクロ波工学	
ミ	水資源工学	
ム	無機化学 無機合成 無機工業材料 無線	無線工学 無機工業化学
メ	メカトロニクス	
モ		木工機械
ヤ	冶金工学	や(冶)金一般 や(冶)金実習
ユ	油圧工学 輸送機械 誘電材料 有機化学 有機機能材料 有機量子化学 有機構造 有機合成学 有機反応 有線機器学	有機工業化学
ヨ	溶接工学 溶接機器 溶接設計 溶接冶金学	溶接 窯業 窯炉・燃料
リ	利水工学 理論有機化学 流体力学 流体工学 流体回路 量子エレクトロニクス 量子電子工学	林業土木 林業機械
レ	連続体力学 冷凍工学	冷蔵・冷凍
ロ	ロボット工学 ロボティクス 論理回路	炉・燃料

注1) 「工学」「学」「技術」等の文字の有無により科目名の異なるものは、同科目名として取り扱うものとします。

注2) 上記の授業科目には、一部の関連科目も含まれます(認められない科目もあります)。

(例) 機械工学-機械システム設計 機械振動学 機械構造力学 機械材料学等

注3) 上記の名称を含む授業科目であっても、明らかに「機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する分野」と認められないものは除きます。

注4) 詳細はお問い合わせください。

## － 個人情報の取り扱いについて －

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、免状交付申請書、受験票への表示、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的を達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

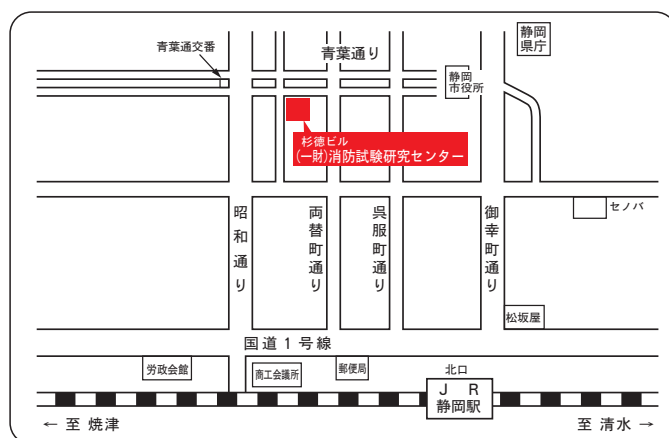
なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

※事故等により会場や日程を変更する場合には、静岡県支部からの緊急情報として当センターのホームページに掲載します。特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して試験日時を変更する場合の緊急情報は、試験開始時間の2時間前までに掲載します。

### ※受験に関する問い合わせ先

所在地：〒420-0034 静岡市葵区常磐町1-4-11 杉徳ビル4F  
一般財団法人消防試験研究センター静岡県支部  
TEL 054-271-7140 FAX 054-271-7284  
受付時間 9時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）  
ホームページアドレス <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>

### 一般財団法人消防試験研究センター静岡県支部 案内図



### ※電子申請に関する問い合わせ先

一般財団法人消防試験研究センター 電子申請室  
専用電話（全国共通） 0570-07-1000  
受付時間 9時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）  
ホームページアドレス <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>

\* 一般財団法人消防試験研究センターは、試験実施機関であり、受験準備のための講習会や問題集等の出版は一切行っておりません。